

2019年1月7日

課題名：「抗凝固薬服用者における内視鏡的乳頭括約筋切開術（EST）の安全性の検討」

◆研究の目的と概要◆

本研究は、岡山大学病院ならびに関連施設で行われた抗凝固薬服用患者でのESTの状況を把握することを目的とし、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2015年7月1日～2017年6月30日の間に当院において、内視鏡的に乳頭括約筋切開術の治療を受けられた方

◆研究に使用される情報・試料◆

血液検査や内視鏡検査などのデータ、出血や血栓症の有無、その他の合併症の有無

◆研究方法◆

上記情報、患者さんの氏名などがわからないようにしたうえで、下記機関に対して電子的配信で提供します。

◆主な共同研究機関及び研究責任者◆

岡山大学病院岡田裕之医師が主体となって実施しており、全国16施設が参加していません。

主体のホームページ <http://www.okayama-gastro.com/patient/list.php>

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

消化器内科 研究責任者 森本 光作

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明